



どんなに小さな声も聞きもらさず、
こつこつと仕事していきたい。

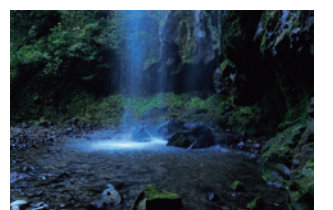
大阪で生まれ育った辺美礼さんが、総務省によって制度化された「地域おこし協力隊」の隊員として湯梨浜町で暮らすことになったのは2016年10月だ。「初めて訪れたのですが、滋賀県の琵琶湖のそばに住むおばあちゃんの地と似ていて、すぐ溶け込めました。溶け込めたのは風土のためだけではなく。驚くほどみなさんがフレンドリーで……」あたたかく迎え入れてもらった。

もともと各種リハビリテーションの活動をおこなう理学療法士である。大阪で8年間、真剣に取り組んでいたが、「リハビリを必要としている方々が抱えている問題は個人に帰結しない、そう考えるようになりました」。その人の暮らす環境、すなわち地域全体から求めていかなければ、と。その問題意識から高齢者住宅づくりに携わる会社の理念に共感して加わり、そこから現在へ、という道すじだ。

高校時代はバレーボールの名選手だった。そう知れば、なるほど豪快で小気味いいアタック姿がよく似合う。「全体をよく見て気配りがいい」と周囲の人びとから聞こえてくる人物評も、スポーツ経験で得たチームプレイ精神にちがいない。「どんなに積極的にみなさんとふれあって、どんなに小さな声も聞きもらさず……」吸収し、いい仕事をしていきたいと願っている。

通勤途上に見る朝霧の景色が好きだ。これから初めて味わうことになる湯梨浜の四季の移ろいが、「本当に楽しみです」。

地域おこし協力隊
辺 美礼



ゆ
う
ゆ
う、
ゆ
り
は
ま